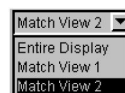
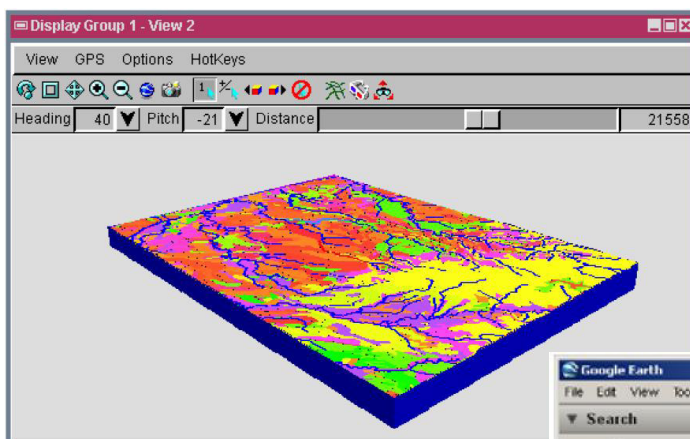


3次元表示を KML や KMZ にレンダリングする

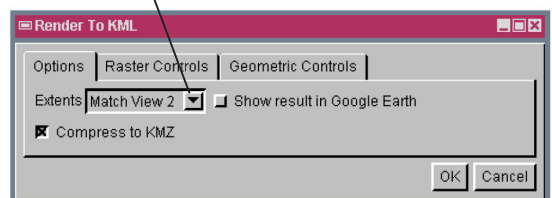
ご存知でしたか?... 開いている3次元表示ウィンドウの範囲を使って、3次元グループ中のレイヤを KML ファイルにレンダリングすることができます。

3次元表示を KML や KMZ にレンダリングすることで...

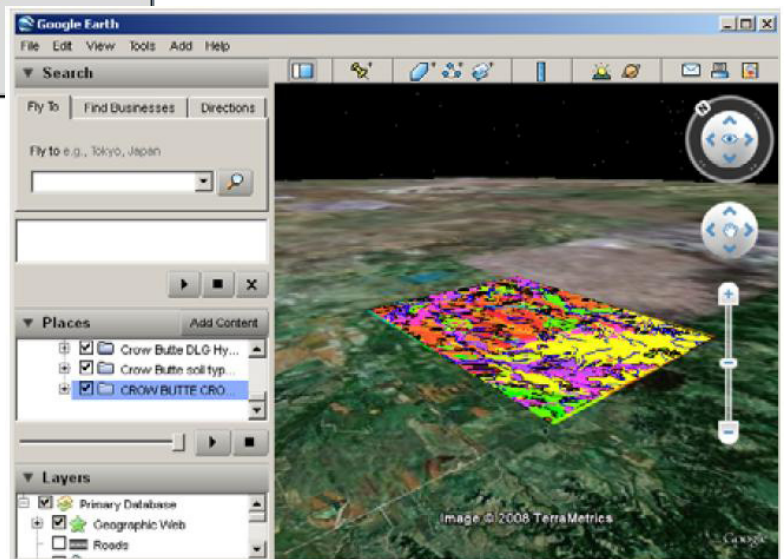
- 3次元表示の内容を Google Earth で表示することができます。
- 開いている3次元表示ウィンドウを選択して、その範囲に合わせて KML ファイルをレンダリングすることができます。
- Google Earth で最後に使った角度と高度でレイヤを表示することができます。



開いている3次元表示ウィンドウを選択して、KML ファイルの範囲を指定します。



開いている3次元表示の範囲に合わせて表示グループを KML や KMZ ファイルにレンダリングすると、作成した KML や KMZ ファイルは TNTmips で設定した角度と高度で Google Earth に表示されます。グループの内容は [Place(場所)] パネルに表示されます。



3次元表示を KML や KMZ にレンダリングする方法

- 表示マネージャから、[表示] > [新規] > [3次元表示] を選択してレイヤに追加します。
- [表示] > [KML にレンダリング] を選択して <KML にレンダリング> ウィンドウを開きます。
- [オプション] パネルの [範囲] メニューから [第2の表示ウィンドウやその他の開いている3次元表示 (の範囲) に合わせる] を選択し、KML や KMZ ファイルの範囲を指定します。
- [OK] ボタンをクリックしてデフォルトの設定で KML や KMZ ファイルを作成します。または、
- [図形コントロール] タブパネルをクリックして、図形オブジェクトの座標精度値を変更します。
- [ラスタコントロール] タブをクリックして、ラスタオブジェクトのセル値やフォーマットタイプを変更します。
- ポイントシンボルまたはデータベースのピンの上でマウスを止め、デジタル写真のサムネイルを表示します。

さらに知りたいことがあれば...



以下のテクニカルガイドをご覧ください：
地図レイアウトを KML にレンダリングする
 (Render Map Layouts to KML)

